

質問日	平成30年 6月12日(火)		質問方式	一括方式			
質問順位	4	会派名	市民クラブ	議席番号	36	氏名	斉藤 晴明
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 新たな統一的公会計基準の活用について	<p>平成27年1月に国から「統一的な基準による地方公会計マニュアル」が公表され、全自治体に対し統一モデルによる財務書類を平成30年3月までに作成するよう要請があり、本市も平成28年度決算から作成している。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 平成21年度決算から本市が採用していた「基準モデル」と新たな統一的公会計基準の主な変更点について伺う。</p> <p>(2) 平成30年度の予算編成へどのように活用したか伺う。</p> <p>(3) 市民、議会等への説明責任、業務の効率化、固定資産の適正な管理、他団体との財政比較、PFI等への活用など、今後、どのように展開していくのか伺う。</p>						松原財務部長  〃 長田副市長
2 公文書管理について	<p>国会では情報公開や公文書管理のあり方にかかわり、行政文書の定義、保存期間、行政文書の不存在をめぐる問題が続いている。これは、情報公開制度が制定されて以来、絶えず問題になってきたことでもある。</p> <p>平成23年4月から公文書管理法が施行され、行政機関は行政文書の管理について法令上の義務を明確に負うこととなり、地方公共団体はこの法律の趣旨にのっとり、その保有する文書の適正な管理に関して必要な施策を策定し、これを実施するよう努めなければならないと規定しており、公文書管理条例制定などの努力義務が課されている。</p> <p>公文書は管理をするためだけに作成するわけではなく、あくまでも一義的には適切な行政活動を担保し、組織内部で経緯と経験を共有し、検証可能にしていく公文書の役割が徹底されることで、はじめて「市民共有の知的資源」の質が確保され、市民の知る権利も保障されるものである。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 「浜松市公文書管理条例」を制定すべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 歴史文書としての移管先の確保と、公文書館の設置をしてはと考えるがどうか伺う。</p> <p>(3) 公文書管理の規律の確保と、公文書による説明責任の徹底を通じた信頼性の確保のために、ファイリングシステムを含めた公文書管理の仕組みを見直すべきと考えるがどうか伺う。</p>						川嶋総務部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>3 ユニバーサルデザインによるまちづくりについて</p>	<p>(1) 緊急時における高齢者や視覚、聴覚、言語機能及びそ          しゃく機能に障害がある人、また、電話での会話が困難          な人に対するの対応が不十分であり、更なる充実のため          にスマホ等を中心としたコミュニケーションツールを          確立するべきと考える。</p> <p>ア 2011年の東日本大震災では、犠牲者のうち障害者          (障害者手帳の所持者)の割合は約2%に上り、全          体平均の2倍との調査結果が出ている。</p> <p>風水害など自然災害時の避難情報等は、今後、プ          ロポーザルにより新たな災害情報伝達システムを          決定していくことになるが、その中で特に高齢者、          視覚・聴覚障害者などへ確実に情報伝達できるよ          う、どのような視点で構築していくのか伺う。</p> <p>イ 市役所等の公的機関や災害時の避難所における          備品に、手話・字幕付き放送「目で聴くテレビ」な          どが視聴できる聴覚障害者専用情報受信装置を入          れるべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>ウ 聴覚・言語などに障害のある人のための通報シス          テム「浜松市メール119システム」の登録者数は、          全対象者に対してFAXも含め51人と少ない状況          にある。</p> <p>自身の病気や事故等の緊急事態に的確に通報で          きるシステムである「NET119」を早期に導入し、          対象者全員に対応できるようにすべきと考えるが          どうか伺う。</p> <p>(2) 2020年ブラジルパラリンピック選手団の事前キャン          プ受け入れなどが控えているこの時期を契機に、全ての          人が容易に情報へアクセスできる環境を整備すべきと          考えるが伺う。</p>	<p>宮城危機管          理監</p> <p>〃</p> <p>鵜飼消防長</p> <p>山下市民部          長</p>
<p>4 学校教育につい          て</p>	<p>(1) 本年4月に「浜松市立中学校部活動運営方針」いわゆ          るガイドラインが示され、部活動の教育的意義の大き          さを認めつつ、教育課題の複雑化・多様化、教職員の多忙          化など今日的な課題に対する取り組みを行うこととな          った。さまざまな課題を解決し、部活動がより一層効率          的・効果的に行われ、生徒の健全な成長を支え、これま          で以上の成果が上がればと考える。</p> <p>そこで、以下2点伺う。</p> <p>ア 地域の民間企業、大学、教員OB等へ協力を要請し          て人材確保してはと考えるがどうか伺う。</p> <p>イ 将来、部活動がクラブ化する方向に進む中、地域に          おける部活動指導員の人材確保は必要と考えるがど          うか伺う。</p> <p>(2) 平成32年度からの新学習指導要領により、小学3・4          年生で年間35時間の外国語活動、5・6年生で年間70</p>	<p>花井教育長</p> <p>花井教育長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 浜松城公園整備について	<p>時間の外国語を実施することになるが、教員の負担が増し不安の声が上がっている。また、それに伴い、中学校での難易度も増してくる。</p> <p>そこで、市としてどのような対策を講じていくのか伺う。</p> <p>(1) 「歴史が薫る」を最大のコンセプトとして、公園整備を進めていくべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 北方面から市役所駐車場へ入庫しようとするほぼ全ての車が市庁舎南東の信号機をUターンしているが、大動脈である幹線道路でのUターンは異常である。</p> <p>将来的に浜松城公園となる元城小跡地の東側の一部を進入路としてはと考えるがどうか伺う。</p>	伊藤花みどり担当部長 松原財務部長
6 はまホール、高砂小跡地について	<p>(1) 両跡地は市中心部にあり、一等地である。跡地利用について、早期に方向性を示すべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 行政財産の廃止等において、マネジメントを所管する部署はどこなのか伺う。</p>	鈴木副市長 松原財務部長
7 浜名湖の活用について	<p>女性の視点やサウンディング型市場調査を踏まえ、さかなセンター・海鮮市場がある沼津・焼津・御前崎に負けないぐらいの豊富な海産物を最大限生かし、浜名湖全体の活用を点から線、線から面へと進めるために、今後、具体的にどのように展開していくのか伺う。</p>	長田副市長
8 生ごみ対策について	<p>ごみ処理には年間約62億円と莫大な経費がかかっている。家庭から出る燃えるごみのうち生ごみは約4割を占めるが、この生ごみの量を減らせば相当な経費削減が期待できる。そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) まずは市職員全員を対象に効果的な手法での実験に取り組み、アンケートなどから得た正確なデータを基に実効性ある対策をとってはと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) ごみの分別など、日々の生活の中で全ての市民が意識し、それぞれの環境の中で取り組みができる対策を講ずべきと考えるがどうか伺う。</p>	影山環境部長
9 中小企業振興基本条例制定に向けて	<p>人口減少やグローバル化などにより、地域経済を取り巻く環境が厳しさを増す中で、本市が継続的に発展するためには、市内事業所の大部分を占める中小企業に対する振興施策を推進する必要がある、これまでも、市長を先頭にさまざまな支援策・施策を講じてきた。</p> <p>今後とも、これまでの実績を将来にわたって確実なものにするために、中小企業に対する「基本方針」「基本</p>	鈴木市長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
10 J T工場跡地について	<p>的施策」「市の責務」「中小企業者等の責務」「市民等の理解及び協力」などを定めた、(仮称)浜松市中小企業振興基本条例を制定してはと考えるがどうか伺う。</p> <p>日本たばこ産業株式会社浜松工場の跡地約10.6ヘクタールを浜松市内の企業が取得し、今後、住宅を主とした土地利用を計画している。</p> <p>当然のことながら民間主導で事業計画が進められていくことになるが、全戸への太陽光パネル整備などに対する側面的な支援をして、再生可能エネルギーの街としての環境整備ができないか伺う。</p>	岡本都市整備部長